

無償

講師派遣のご案内

Zoom等を利用した双方向によるオンライン講座や講義を収録した動画の提供によるオンデマンド講座の選択も可能です。お気軽にご相談ください

「大学生・短大生」対象

生命保険の基礎的な知識と生活設計における役割について学生が学ぶ機会として講師を派遣しております。**生活設計**に重点を置いたり、**社会保険**や**生命保険**に重点を置いた講座の実施も可能です。また、**複数コマの実施も可能**となっておりますので、お気軽にご相談ください。

将来に備えるべきお金の準備の必要性や、リスクに対する生活保障手段の種類について知る良い機会になった。(大学2年・男性)



CHAPTER 1 将来を見つめ、自分らしく生きる **生活設計の重要性**

【生活設計の考え方】
自分の目指す生き方を実現するためには、具体性と計画性を持った「生活設計」をすることが大切です。特にライフスタイルが多様化する今日では、私たち一人ひとりが、主体的に生活設計に取り組むことが求められています。また、一度立てた生活設計は、ライフステージや社会環境の変化に合わせて定期的に見直すことも大切です。生活設計は、大きく分けると次の3つの要素から成り立っています。

【生活設計とリスク管理】
生活設計を考えるうえで、私たちは教育や住宅取得など多額の資金が必要になることを見込んで資金計画を立てる必要があります。一方で、予測できない死亡や病気、災害や事故などによって想定していた資金計画が崩れる、生活設計全体に影響が及ぶこともあります。このような経済的損失や不利益を被る可能性(リスク)を認識し、その損失の程度を把握して対処方法を考えなくては「リスク管理」と言います。リスク管理は、生活設計をより確かなものにするために欠かせない要素です。

【生活設計の考え方】

夢や目標	まずは、「自分にとって大切なことは何なのか」「何を達成したいのか」という人生観や自己実現のあり方について考えることが、生活設計全体の指針になります。
家計の把握と資金計画	夢や目標をより現実的なものとして考えるために、現在の家計(収入と支出)や資産の状況を正確に把握し、将来のライフイベントに向けた資金計画を立てることが大切です。
リスク管理	夢や目標、現在の状況とあわせて、将来のリスクやその備えについて考えることも大切です。

【生活設計とリスク管理】

リスクを回避する	リスクそのものを回避して、損失が発生しないようにする。
リスクを低減する	リスクが現実のものになった場合でも、損失が小さくなるようにする。
経済的な備えをする	リスクが現実のものになった場合に備え、損失をカバーできるように経済的な準備をしておく。

【さまざまなライフコースとライフイベント】

人生の間に起こる重要なことをライフコースといいます。長い人生をいくつかの時期(ライフステージ)に分け、それぞれの時期の目標や重要なイベントを考えると、生活設計をより具体化することができます。また、何年経てばどのようなライフイベントがあるかを考え、それに向けた資金計画を立てることも大切です。

ライフイベントの平均費用	ライフイベントにかかる費用
<ul style="list-style-type: none"> 多摩大学 310万円 294万円 早稲田大学 323万円 307万円 40.0万円 	<ul style="list-style-type: none"> 結婚にかかる費用は? (結婚前・後、学費・嫁入り費用などにかかる費用の合計) 7万円 教育にかかる費用は? (結婚前・後、学費・大学初年度生活費) 7万円 住宅購入にかかる費用は? (注文住宅の場合、住宅ローン返済に上乗せする費用) 7万円

講義にて使用する大学生向け冊子「生活設計とリスク管理」
※当センターHPよりご覧いただけます

「社会人」対象

全国各地の消費者行政機関や企業・官公庁等からの要請に応じて、公正・中立な立場から、**年金・医療・介護等の社会保険、生命保険の活用方法**や**生活設計**をテーマとした学習会を実施しています。お気軽にご相談ください。

【主な実施テーマ】

- ・生命保険の基礎知識
- ・公的年金と個人年金
- ・定年退職準備【40～50代対象】
- ・セカンドライフと生命保険【60代以上対象】
- ・医療保険と介護保険
- ・子育て世代の生活設計と生命保険



◎ 講師派遣について

<https://www.jili.or.jp/lecturer/index.html>



◎ 講師派遣のお申込み

<https://www.jili.or.jp/cgi-bin/cms/public/index.cgi/jil/lecturer/form/index>



◎ 公益財団法人 生命保険文化センター

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976年(昭和51年)に設立。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の事業を3つの柱に、大学・高校等への講師派遣、一般消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成、生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動を行っています。

◎ お問い合わせ先

(公財)生命保険文化センター生活情報室 担当：土手・大島
TEL 03-5220-8517 FAX：03-5220-9090
メールアドレス：jitsugaku@jili.or.jp